

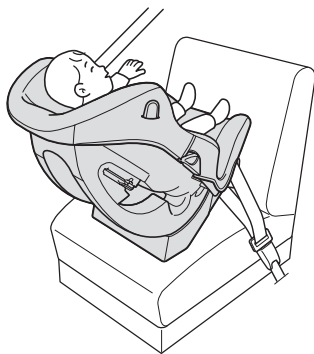
コンビ チャイルドシート ママロンシリーズ

取扱説明書 品質保証書付

- お子さまの安全のため、ご使用前に必ず本書をよく読み、十分ご理解の上、正しくご使用ください。
- 品質保証書に、必要事項をご記入ください。
- 本書は本体裏側下部の収納用ポケットに保管してください。

本製品は、ヨーロッパ統一規格 (UN R44/04改訂) において認可された商品です。

- 乳用型 (ユニバーサル): 質量グループ0, 1, 2
- 体 重: ~ 25kg 以下の乳幼児用
- 弊社の「取付確認車種リスト」をご確認の上、ご使用ください。



- 危険** お子さまの体重が9kg以上になるまで前向きで使用しないこと
- 注意** お子さまの負担を考え、長時間連続しての使用を避け、1時間程度を目安に休憩をとってください。また、首がずれるころまでは、お子さまの体調の変化に気をつけながらご使用ください。

4. 使用条件

ここでは、お子さまの体重による取り付けの向き、インナークッションの使いかたを説明しています。お子さまの体重にあわせて正しくお使いください。

体重 10kg未満	体重 9kg以上 18kg以下	体重 15kg以上 25kg以下
ベビーモード	チャイルドモード	ジュニアモード
<ul style="list-style-type: none"> ●進行方向に対して後向き ●体重7kg未満の場合、必ずインナークッションを使用する ●幼児ベルトを必ず使用 	<ul style="list-style-type: none"> ●進行方向に対して前向き ●インナークッションは使用禁止 ●幼児ベルトを必ず使用 	<ul style="list-style-type: none"> ●進行方向に対して前向き ●インナークッションは使用禁止 ●幼児ベルトは使用せず、車両シートベルトを使用
<p>●使用の目安</p> <p>身長目安: ~ 75cm 程度 身長の目安: 新生児 ~ 1才ころ ※新生児とは、体重と5kg以上かつ妊娠週数37週以上</p>	<p>●使用の目安</p> <p>身長目安: 75cm ~ 105cm 程度 ※後頭部が本体の背もたれから上に出ないこと 年齢の目安: 1才 ~ 4才ころ</p>	<p>●使用の目安</p> <p>身長目安: 95cm ~ 120cm 程度 ※後頭部が本体の背もたれから上に出ないこと 年齢の目安: 3才 ~ 7才ころ</p>
<p>危険</p> <ul style="list-style-type: none"> ●体重が9kg未満は必ず後向きでご使用ください。前向きでの使用は非常に危険です。 ●「身長の目安」や「年齢の目安」はあくまでも目安です。身長や年齢が上記条件を満たしていても、「体重条件」を満たしていないお子さまはご使用になれません。 		

7. 安全にお使いいただくために

警告

- 幼児ベルトがたんだ状態で使用しないでください。**ベルトが首に巻き付き、窒息をおそれがあります。
- ※幼児ベルトは正しい長さに調節してください。
- 調節ベルトは調節ベルト取り出し口内に収納してください。ベルトが首に巻き付き、窒息をおそれがあります。
- 7kg未満の小さなお子さまを座らせる場合には、必ずインナークッションを正しく取り付けて、お子さまの体にフィットした状態で使用してください。
- 車両シートベルトに傷がある場合は、その座席に取り付けしないでください。
- チャイルドシートにお子さまが座った状態で通ばないでください。

- 衝突事故や製品を落下させたときなど、1度でも強い衝撃を受けたチャイルドシートは、外見上の破損がなくても、絶対に使用しないでください。
- バックルにゴミ・飲食物などが詰まると確実に差し込めない場合、または解除しにくい場合は修理の必要がありますので、当社のコンシューマープラザへお問い合わせください。
- 幼児ベルトに傷がついたときは、ご使用に不都合なく、急ブレーキをかけたときなど、車内に転がり、運転のさまたげとなることがあります。
- ジュニアモードでご使用の場合、必ずベルトポジションャーを使用してください。衝突時、車両シートベルトから肩がはずれて危険です。

- お子さまがバックルボタンを押してしまう可能性があります。差込タンクがバックルからはずれていないことを確認してください。はずれていると本来の機能を果たさず、さらにベルトが首に巻き付きくおそれがあります。
- シフトレバーやパーキングブレーキなどの運転操作に支障をきたす場合は、助手席に取り付けしないでください。
- お子さまがチャイルドシートに座っていないときでも、必ず車両シートベルトで固定しておいてください。急ブレーキをかけたときなど、車内に転がり、運転のさまたげとなることがあります。
- ジュニアモードでご使用の場合、必ずベルトポジションャーを使用してください。衝突時、車両シートベルトから肩がはずれて危険です。

- ジュニアモードでご使用の場合、チャイルドシート固定機能付きシートベルトのときは、固定機能を働かせないでください。お子さまが締め付けられ、胸が圧迫されます。
- 2ドアや3ドアの車で後座席に人が乗る場合は、チャイルドシートを助手席に取り付けしないでください。緊急時の脱出のさまたげになります。
- お子さまを車内に1人で放置しないでください。日差しの強い日などには、車内の温度が高くなり、お子さまが脱水症状になるおそれがあります。また、予期せぬ事故の原因となります。必ず保護者のかたが同乗してください。
- 車両肩ベルトがお子さまの肩にかかるようにベルトポジションャーを調節し、使用してください。

注意

- 直射日光が当たると、本体や差込タンクなどが熱くなり、お子さまがやけどをするおそれがあります。夏などの日差しが強い日は、日かげに駐車するか、チャイルドシートにカバーなどをかけてください。また、お子さまを座らせる前に各部を触り、熱くないことを確認してから使用してください。
- 走行中は、チャイルドシートの操作や調節をしないでください。また、同乗している他のお子さまがチャイルドシートに触らないようにしてください。
- チャイルドシートを通常の椅子として使用すると、転倒してけがをするおそれがあります。本書に記載されていない使いかたをしないでください。
- チャイルドシートを車のシート可動部やドアにはさまないように、十分注意してください。

注意

- 爪を伸ばしていたり、付け爪をしていると、拘束や調節操作をする際、巻き込まれる可能性があります。必ず定期的に、十分注意してください。
- 座席の表皮素材 (革など) および形状によっては、取り付けた座席に傷や跡がつくおそれがあります。別売りの「コンビ スリ防止・保護シート」の使用をおすすめします。
- 製品の改造や不当な修理をしないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 出荷時に取り付けられている部品、および当社指定の部品以外は使用しないでください。破損・故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 車の座席に、クッションや座布団などを敷いたまま、チャイルドシートを取り付けしないでください。チャイルドシートがしっかりと固定されません。

- チャイルドシートを風雨にさらさないでください。
- シートカバーなどの縫製品や、ウレタンなどのクッション材は必ずそのまま使用しないでください。また、本製品以外のものと取り替えたらないでください。(衝突時の安全性能に影響を与えるおそれがあります)
- 固定されていない物を車内に置く場合は急ブレーキや衝突時にお子さまに当たるおそれがありますので、十分注意してください。

8. 日常の点検

チャイルドシートの本来の機能を果たすため、走行前には次の事項を点検してください。

- 幼児ベルトがお子さまの体にフィットしていること (調節ベルトを引いてフィットさせてください)
- 差込タンクがしっかりとバックルに差し込まれ、差込表示が緑に変わっていること
- チャイルドシートが車両座席にしっかりと固定されていること (本体座面の側面部を持ち前後にゆすり、確認してください)
- 幼児ベルトが正しい位置になるように、肩ベルト通し穴が調節されていること
- 車両シートベルトにゆるみ、たるみ、ねじれがないこと
- 車両シートベルトの差込金具がしっかりと車両バックルに差し込まれていること
- 幼児ベルトにねじれやたるみがないこと
- お子さまの骨盤をしっかりと拘束するように、必ず幼児腰ベルトを低く下げる

9. インナークッションの使いかた

インナークッションは、小さな赤ちゃんを保護するためのものです。お子さまの体重が7kg未満の場合には、インナークッションをお使いください。(工場出荷時、インナークッションは取り付けられています) また、7kg以上になりましたら必ず取りはずしてください。

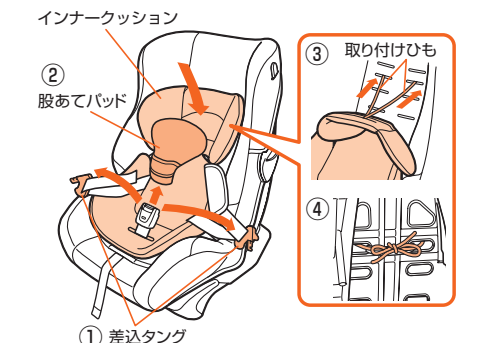
- 危険** インナークッションは、誤った取り扱いをするとき本来の機能を果たさず危険です。使用の方をよく読み、正しく使用してください。

- 警告** インナークッションが使用できるのはお子さまの体重が7kg未満までです。7kg以上で使用すると、本来の機能を果たさず危険です。

- 注意** ●はずしたインナークッションを車内に放置しないでください。急ブレーキをかけたときなど、車内に転がり、運転のさまたげになることがあります。●チャイルドシートを持ち運ぶときは、インナークッションを持たないでください。

インナークッションの取りはずしと取り付け

- ①バックルボタンを押して差込タンクをバックルからはずす。
- ②股あてパッドを股あてパッド通し穴に通し、取りはずし、または取り付けをする。
- ③取り付けひもを上から2段目の肩ベルト通し穴に通し、
- ④本体背面で取りはずし、または取り付けをする。



1. お使いいただく前に

このたびは、コンビ チャイルドシートをお買い上げいただき、ありがとうございます。お子さまの安全のため、ご使用前に必ず本書を読み、十分ご理解の上、正しくご使用ください。

チャイルドシートは、交通事故などの場合にお子さまの傷害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。また、チャイルドシートを使用するときは、必ず保護者のかたが同乗してください。

●表示について

本書では、安全に正しくご使用いただくため重要な事項を「危険」、「警告」、「注意」の表示で説明しております。重要事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度や大きさにより区分したもので、大変重要な内容です。必ずお守りください。

表示	表示の内容
危険	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。
警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が起る可能性が想定される内容です。

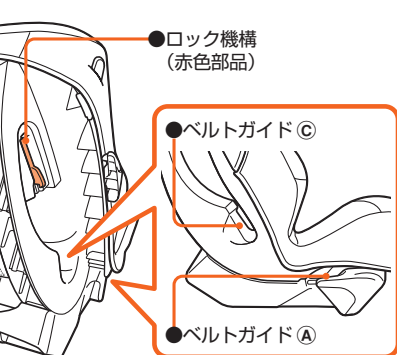
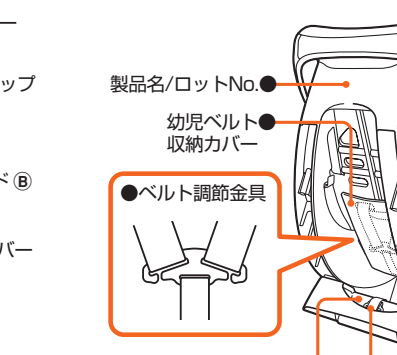
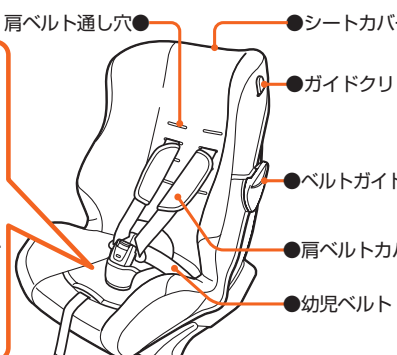
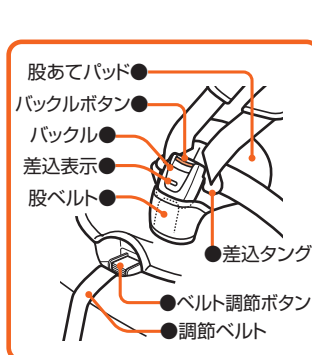
チャイルドシートをご使用いただく上で知っておいていただきたいこと、および知っておくと便利な内容です。

2. 各部のなまえ

ご使用前に、各部品がそろっていることをご確認ください。

梱包内容

- 本体
- インナークッション
- 取扱説明書 (本書)
- お客様登録カード



5. シートベルトの種類と使用上の注意

チャイルドシートは、シートベルトの種類により取り付けかたが異なったり、取り付けられない場合があります。

本製品は UN/EC 規則 No.16 または、他の同等の基準に基づいて認可された3点式シートベルトを装備した車種に限り使用するのに適しています。

※日本国内で登録されている自動車は、ほぼ適合しております。車種適合につきましては下記のサイトにてご確認ください。

パソコンから <http://www.combibaby.com>
携帯電話から <http://www.combibaby.com/i/>

※取り付ける車種によっては、別売りの「フィットマット」が必要な場合があります。必ず取付確認車種リストをご確認ください。

シートベルトの種類と特徴 (見分けた)	ベビーモード	チャイルドモード	ジュニアモード
ELR	ゆっくり引くと自由に出入りし、勢いよく引くとロックする。	ゆっくり引くとシートベルトを引き出して取り付けてください。	ゆっくり引くとシートベルトを引き出して取り付けてください。
AELR	シートベルトを全て引き出した後で巻き戻すとチャイルドシート固定機能ははたらき、それ以上伸びなくなり、(シートベルトを全て巻き戻すと解除される)	シートベルトを全て引き出し、チャイルドシート固定機能を働かせ、チャイルドシートロック機能により固定してください。	シートベルトを全て引き出し、チャイルドシート固定機能を解除してから取り付けてください。
その他	上記にあてはまらないシートベルト。	使用できません。	使用できません。

6. 取り付けできない座席

下記の座席でも、チャイルドシートをしっかりと固定できない場合には使用しないでください。

- シートベルトが付いていない座席。
- 2点式シートベルトの座席。
- 座面の奥行きが40cm未満の座席。
- 極端なバケットシート。…座面の中央が深くへこんでいる座席。
- 進行方向に対して横向き、または後向きの座席。
- ヘッドレスト部が極端に出っぱっている座席。…車のヘッドレストが取りはずせる場合は、取りはずすことで操作が可能になれば、その座席でも取り付けできます。
- シートベルトが座席の中間から出てくる座席。…チャイルドシートのシートベルト通し穴の位置よりも、前方向からシートベルトが出てくる座席。
- 座席の凹凸が極端で、取り付けたときに不安定になる座席。
- シートベルトの取り付け幅が32cm未満の座席。…シートベルトが座席の端にあたってるところから、バックルの付け根までの長さ。
- エアバッグ装備の座席。…サイドエアバッグのみの場合には使用できます。
- シートベルトの長さが極端に短い座席。

3. 品質保証書

品質保証書

コンビ チャイルドシート

本書は、本書記載内容で無償修理を行うことを約束するものであり、ご購入の日から下部記載期間中製品の故障が発生した場合は、本書をご提示の上、当社コンシューマープラザ、または、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

製品名	保証期間
ロットNo. (本体背面のシールを参照してください)	お買い上げ日より1年間 (※長期保証あり)

お買い上げ日: 年 月 日

お名前: 姓 名

お客 様 へ 住所 〒 TEL

店 名 TEL

販売店 住所 TEL

修理メモ

保証規定

1. 一度に使用した製品は、原則として取り替えできません。
2. 保証期間内(お買い上げ日より1年間)に正常な使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。電話にてお問い合わせの上、当社コンシューマープラザにお送りください。
3. 保証期間内でも次のような場合は有償修理となります。
 - (a) フラッシュの腐食の自然劣化による変色。
 - (b) シートカバーなど、装飾部品の破損や変色。
 - (c) お客様の誤使用、または改造や不当な修理による故障および損傷。
 - (d) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地災による故障および損傷。
 - (e) 本製品に部品、お買い上げ日、お客様、販売店名の記入がない場合、あるいは文字が読み取れない場合。
 - (f) 本書のご提示がない場合。
 - (g) 一歩家取扱い以外で、業務用レンタル等でご使用された故障した製品。
 - (h) 有償修理の場合に際する運賃などの諸経費。
4. 衝突事故など、1度でも強い衝撃を受けた製品の修理はできません。
5. 日本国内においてのみ有効です。海外からの修理サービスは受けません。

●お買い上げ後、お客様、お買い上げ日、お客様、販売店名を大切に記入し、保証書をご提示ください。本書が再発行になりますので、大切に保管してください。

●修理費(シート)を本書と一緒に保管してください。

●この保証書は、本製品に付属している保証書と併せて、修理を依頼するのです。したがってこの保証書によって法律上の権利を主張するものではありません。また、保証期間経過後の修理については保証の対象外です。当社コンシューマープラザ、またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

●品質保証書に記入いただいた個人情報(住所、氏名、電話番号、保証書の高さ)の漏れは、お客様のプライバシーに配慮して、適切に管理いたします。

●取り付けるときは必ずすときの手順を、逆行ってください。

製品を正しく安全にお使いいただくための情報を、当社ホームページでご案内しております。下記ホームページをご覧ください。
<http://www.combi.co.jp/safetyinfo/index.html>

中性洗剤を原液で使用したり、ソリソリ、ベンジンなど有機溶剤の使用はおやめください。本体および幼児ベルトをいためるおそれがあり危険です。

コンビ株式会社

製品に関するお問い合わせは、部品購入・修理などのご相談は、コンシューマープラザに対応いたします。

コンシューマープラザ (Customer Service Center)

受付時間: 10:00 ~ 17:00 (土日祝日、年末年始を除く) 〒339-0025 埼玉県さいたま市青葉区約・新田271

TEL (048) 797-1000 FAX (048) 798-6109

■総合受付(各種ご相談窓口) 製品に関するお問い合わせ/修理の依頼/各種ご相談/その他

TEL (048) 797-1000 FAX (048) 798-6109

■販売店(電話) 窓口 部品購入のお問い合わせ/ご注文

コンシューマープラザ (Customer Service Center) 西日本本店 大阪府大阪市中央区本町2-4-16

TEL (06) 6942-0379 FAX (06) 6942-0302

●コンシューマープラザホームページ <http://www.combi.co.jp/cp/>

14826090 147

12. 取り付け準備

危険

- チャイルドシートがしっかり固定できない場合は、本来の機能を果たさず大変危険ですので、他の座席に取り付けてください。
- 車に取り付けるときは、ひもなど、車両シートベルト以外のもの固定しないでください。
- エアバッグ装備の座席では、チャイルドシートを使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。
※サイドエアバッグのみの場合には使用できます。

警告

- 車両シートベルトに傷がある場合は、その座席に取り付けてください。
- お子さまがチャイルドシートに座っていないときでも、必ず車両シートベルトで固定しておいてください。
- エアバッグ装備のない助手席にチャイルドシートを取り付け、後向きで使用する場合、ドアミラーが見えにくい場合は後座席に取り付けてください。
- ソフトブレーキやパーキングブレーキなどの運転操作に支障をきたす場合は、助手席に取り付けてください。
- 2ドアや3ドアの車で後座席に人が乗る場合は、チャイルドシートを助手席に取り付けてください。緊急時の脱出のさまたげになります。

取り付け作業の前に

1

取り付け作業は、ドアが全開可能な、平らな場所で行ってください。

2

車内の作業スペースを確保するため、前座席を倒したり、スライドさせてから取り付けてください。

取り付け座席のスライド機能について

取り付け手順終了後に取り付け座席を前にスライドさせると、より確実に固定できます。

車両ヘッドレストについて

車両座席形状や車両ヘッドレストを確認し、車両ヘッドレストが取りはずせる場合は、取りはずしてください。

15. お子さまにあわせた肩ベルトの調節のしかた (ベビーモード・チャイルドモード)

肩ベルト通し穴の位置は、ベビーモードとチャイルドモードで選ぶ位置が異なります。本製品をご使用の前に、下記の肩ベルト位置を目安に調節してください。

警告

- 肩ベルト通し穴位置は、モードによって適正な位置を選んで使用してください。
- 肩ベルト通し穴は左右同じ高さの穴を使用してください。

肩ベルト通し穴の位置

- ベビーモード**
お子さまの肩の高さよりも、やや下の肩ベルト通し穴を使用する。
- チャイルドモード**
お子さまの肩の高さよりも、やや上の肩ベルト通し穴を使用する。

1

調節ベルト取り出し口をめくり、ベルト調節ボタンの奥側の「PUSH」マークを強く押しながら、

2

左右の幼児ベルトの両方を持ち、手前に強く引きゆるめる。

※肩ベルトカバーを引いても、幼児ベルトはゆるみません。

3

幼児ベルトを肩ベルトカバーから引き抜く。

4

①左右の肩ベルトカバーを本体背面から片方ずつ引き抜く。
②肩ベルトカバーを適正な肩ベルト通し穴に通す。

5

①肩ベルトカバーに幼児ベルトがねじれないように注意しながら通し、
②本体背面から引き出す。

6

①幼児ベルトをベルト調節金具に取り付け、
②幼児ベルト収納カバーを上下に注意し、取り付ける。

17. ジュニアモードの準備

ベビーモードまたはチャイルドモードで使用していた、バックル、幼児ベルトなどを収納します。収納はシートカバーをはずして行いますので、本書 表面「10. シートカバーの取りはずしかた」をご覧ください。

バックルの収納のしかた

バックルを本体座面の収納場所へ納める。

①バックル

②差込金具

幼児ベルトの収納のしかた

幼児ベルトを差込金具と一緒にまとめて、図のように納める。

①本体座面

②差込金具

③幼児ベルト

④差込金具

13. ベビーモード (体重 10kg 未満のお子さま) の取り付け

1

①本体を車両進行方向に対し後向きに置く。
②車両シートベルトをねじらないようにゆっくり引き出す。
③車両腰ベルトと車両肩ベルトを重ねて、座面先端から滑らすようにシートベルト通し穴に通す。
④差込金具を車両バックルに「カチッ」と音がするまで差し込む。
⑤車両腰ベルトを左右のベルトガイドAに通す。

2

①本体を車両座席に押し付けながら、車両肩ベルトを引き、車両腰ベルトのゆるみをとる。

3

①車両肩ベルトを車両バックル側のベルトガイドAに通す。
②本体を車両座席に押し付けながら、車両ドア側から車両肩ベルトを手前に引く。

4

①車両肩ベルトを強く引いたまま、車両ドア側のベルトガイドBにはさみ込む。

14. チャイルドモード (体重 9kg 以上 18kg 以下のお子さま) の取り付け

1

①本体を車両進行方向に対し前向きにし、車両座席の背もたれに接するように置く。

2

①車両シートベルトをねじらないようにゆっくり引き出す。
②シートベルト通し穴に通す。
③反対側の通し穴から引き出し、差込金具を車両バックルに「カチッ」と音がするまで差し込む。

3

①車両腰ベルトが左右のベルトガイドCの赤色マークにかかるように通す。

4

①座面の奥にひざを乗せて体重をかけ、車両座席に本体を沈み込ませる。
②車両肩ベルトを矢印の方向 (地面に対して平行) に強く引き、車両腰ベルトのゆるみをとる。

16. お子さまの座らせかた (ベビーモード・チャイルドモード)

※ジュニアモードでは幼児ベルトを使用しません。

1

①「お子さまにあわせた肩ベルトの調節のしかた」の手順1の作業を行う。
②バックルボタンを押し、差込タンクを抜く。
③お子さまを深く座らせて、左右の腕を幼児ベルトに通す。
④左右の幼児ベルトがねじれていないか確認する。

2

①左右の差込タンクを組み合わせて「カチッ」と音がするまで、差込タンクをバックルに差し込む。

3

①腰ベルトは、必ず腰骨のできるだけ低い位置にかかるようにし、腰部に密着させる。
②肩ベルトは、必ず肩の中央に十分かかるようにする。
③調節ベルトを手前に引き、お子さまと幼児ベルトの間に、大人の手のひらが入る程度に幼児ベルトの長さを調節する。

18. ジュニアモード (体重 15kg 以上 25kg 以下のお子さま) の取り付け

1

①収納用ポケットからベルトポジションナーを取り出す。

2

①ベルトポジションナーを図のように通して車両ドア側のベルトガイドBに付ける。

3

①本体を車両進行方向に対し前向きにし、車両座席の背もたれに接するように置く。
②車両シートベルトを引き出し、
③「カチッ」と音がするまで差込金具を車両バックルに差し込む。
④車両腰ベルトを左右のベルト通し部に通す。
⑤車両肩ベルトを車両バックル側のベルト通し部に通す。
⑥車両肩ベルトをベルトポジションナーに通す。
⑦車両肩ベルトをガイドクリップに通す。

19. お子さまの座らせかた (ジュニアモード)

1

①バックルをいったんははずし、お子さまを深く座らせ、車両シートベルトを引き出して「カチッ」と音がするまで差込金具を車両バックルに差し込む。
②お子さまにあわせ、ベルトポジションナーの長さを調節する。

2

①差込金具を車両バックルに「カチッ」と音がするまで差し込む。
②車両肩ベルトを車両バックル側のベルトガイドAに通す。
③車両肩ベルトを車両ドア側のベルトガイドBに通す。
④車両腰ベルトを左右のベルト通し部に通す。
⑤車両肩ベルトをベルトポジションナーに通す。
⑥車両肩ベルトをガイドクリップに通す。

ベビーモード取り付け完了チェックのしかた

取り付けが終わったら、正しく取り付けられているか次のことを確認してください。

- ①車両シートベルトの差込金具が車両バックルに確実に差し込まれており、はずれないこと。
- ②お子さまの体重が7kg未満の場合は、インナークッションが取り付けられていること。
- ③車両腰ベルトが左右のベルトガイドAを通っていること。
- ④車両肩ベルトが車両バックル側のベルトガイドAを通っていること。
- ⑤車両肩ベルトが車両ドア側のベルトガイドBを通っていること。
- ⑥車両シートベルトにたるみがないこと。
- ⑦車両座席に本体底面、車両背もたれに座面先端が接地していること。
- ⑧本体座面の側面部分を持ち前後にゆすり、しっかり取り付けられていることを確認すること。

※チャイルドシートの構造上、本体が左右に動きますが、使用上問題ありません。

チャイルドモード取り付け完了チェックのしかた

取り付けが終わったら、正しく取り付けられているか次のことを確認してください。

- ①車両シートベルトの差込金具が車両バックルに確実に差し込まれており、はずれないこと。
- ②車両腰ベルトが左右のベルトガイドCを通っていること。
- ③車両肩ベルトが車両ドア側のロック機構を通っていること。
- ④車両シートベルトに、ゆるみ・たるみがないこと。
- ⑤本体座面の側面部分を持ち前後にゆすり、しっかり取り付けられていることを確認すること。

ジュニアモードでは幼児ベルトを使用しません。

1

①「お子さまにあわせた肩ベルトの調節のしかた」の手順1の作業を行う。
②バックルボタンを押し、差込タンクを抜く。
③お子さまを深く座らせて、左右の腕を幼児ベルトに通す。
④左右の幼児ベルトがねじれていないか確認する。

2

①左右の差込タンクを組み合わせて「カチッ」と音がするまで、差込タンクをバックルに差し込む。

3

①腰ベルトは、必ず腰骨のできるだけ低い位置にかかるようにし、腰部に密着させる。
②肩ベルトは、必ず肩の中央に十分かかるようにする。
③調節ベルトを手前に引き、お子さまと幼児ベルトの間に、大人の手のひらが入る程度に幼児ベルトの長さを調節する。